

とき 11月18日(水) 10時
 献血ルームミューズ
 駅前にて声掛けをさせていただきます
 どなたでも参加できますのでお力添えをお願いいたします。
 ◆学生担当………(㊟水野慎治委員)
 ・学生への丹精に手渡しできるリーフレット
 HAPPYNOTNET(ハッピーネット ネット)
 毎月25日発行ご活用ください。

大学卒業生の集い
 Joyous Style
 第1回 R3.3/1～3
 第2回 R3.3/5～7
 第3回 R3.3/9～11
 募集人員 各回 40名
 受講対象 令和2年度大学・大学院・短期大学・専門
 門学校卒業予定者
 *詳細は担当まで

◆時報手配り………(㊟板山眞一委員)
 ・時報手配りは11月1日号から再開。11/8号・11/29号は発送がなく合併号となります。お間違えの無いようお願いいたします。

◆11月定例支部活動
 ◆合唱団アヴァンティ練習日
 とき 11月4日・18日(水) 19時

会場 鴨江アートセンター (206号)
 ◆浜松楽所………休会
 とき 11月 日() 19時
 ◆あらみち会………(㊟伊野瀬智之委員)
 日時 22日(日) 午前9時15分～
 12時00分
 会場 大濱松分教会
 講話 伊藤公一先生
 バス ⑫ポール 上島、内野台方面・
 曳馬橋下車 徒歩3分

◆定例委員会・例会
 ◆運営委員会………東浜名分
 とき 12月2日(水) 9時30分
 ◆青年会献血………ミューズ
 とき 11月18日(水) 10時
 ◆婦人会例会………休会
 ◆女子青年部例会………休会
 ◆ハーブの会………休会

◆12月支部例会
 とき 12月6日(日) 9時30分
 会場 遠州分教会(鶴見町)
 当番委員 小楠友一委員

◆各組活動

各組活動も状況により急遽変更になる場合があるかもしれない。ご了承ください。
 【1組】……… 組長 鈴木 豊司(濱 東)
 〈配本・集金〉 11月28日(土)
 〈合同会議〉 12月6日(日) 休会
 〈ひのきしん〉 12月 日(日) 休会
 【2組】……… 組長 板山 眞一(本濱松)
 〈配本・集金〉 11月29日(日) 9時30分 本濱松
 【3組】……… 組長 長田 虎夫(濱 都)
 〈教会長会議〉 11月27日(金) 10時00分 濱 都
 〈班長会議〉 月 日() 15時00分 休会
 〈ひのきしん〉 月 日(日) 時 分 中止
 曳馬南公園
 【4組】……… 組長 谷口 和幸(四日市浜)
 〈合同会議〉 12月9日(水) 9時30分 四日市浜
 【5組】……… 組長 大石いね子(薫浜松)
 〈配本・集金〉 11月27日(金) 9時30分 薫浜松
 【6組】……… 組長 宮本 善成(長 上)
 〈合同会議〉 11月 日() 時 分 休会
 【7組】……… 組長 小楠 友一(静 濱)
 〈配本・集金〉 12月8日(水) 10時00分 篠原

ふれあい

2020年 11月号 No.435
 会部とよの 支遠西

月日にもたしか心がいさむなら
 にんけんなるもみなどなし事
 第七号—110

コロナ禍で求められる布教力の創意工夫

2 組 組 長 板 山 眞 一
 (本濱松分教会長)

今年の春先より、いわゆるコロナ禍による影響によって、お道のあらゆる活動が思うとおり
 に実現できていないのが現状です。ようばく・信者の皆様の中
 にも、不安に思われている方々がいらつしやると思います。

この稿を執筆している11月初旬に至っては、はたまたヨーロッパでロックダウンを宣言する
 国々が現れるなど、世界的に先の見通しが立たない有り様
 です。我が国においても、コロナ対策と経済活動とを両立させる
 べく、さまざまな政策が打ち出

されている中、私たちは戸惑いを覚えながら日々を過ごしている
 というのが現状です。そして、お道を歩ませていただくようばくにとつても、今も
 なお、なかなか気が抜けない状態
 であります。こうした情勢の中
 では、戸別訪問や路傍講演、
 神名流しもやりにくいという現
 実があります。たいへん由々し
 き時を、私たちは過ごしている
 と言えましよう。

言葉であります。それは「これからの道の歩み」という題で話された内容であり、『みちのとも』(*立教183年10月号)においても確認することができま
 す。その中で最も留意すべき点が「おたすけの実践が見えるのが教会の姿」という部分だと思
 います。教会がめざすべき姿。それは
 たすけ一条という姿に他なりません。
 教会には、さまざまな人たちが寄り集まってこられます。既に信仰を
 実践しているようばくに限らず、未だ教
 えを知らぬ人々にとつても、心の拠り所とな
 るように、教会としての役割を果たし
 ていくことが理想と言

えましよう。
 私は、このお言葉を受けて、我が教会にとつて反省すべき点
 がたくさんあると、戒めている
 昨今です。果たして、すべての方々
 にとつて心の拠り所となっている
 か。いつ、どんなときでも、真
 先に頼りにされるような教会
 であるのか。振り返ってみると、
 これではだめだ、もつともっと
 誠心誠意、努めさせていただ
 ねば、という思いが込み上げて
 きます。

これまでのような布教の手段
 が用いにくくなっている今、一
 層の創意工夫が私たちには求め
 られています。どうすれば教
 えを広めることができるのか。教会
 のあるべき姿を目指すことと共に、
 この時代に合ったにいがけや
 おたすけに取り組んでいく時が、
 到来しています。



おはなし
中臺勸治 先生

立教 181 年度 〈陽気ぐらし講座〉

「家庭のよろこび」
～夫婦、親子、嫁姑などの関係を通して考える～ (11)

人間関係、親子でも夫婦でも嫁姑でも人間関係で困った時には、どのような心で通つたらいいのかというと、低い心、亀の心、我を張らない心で通ることです。

なかなか息子に謝ることはできないですよ。でも、このおかあさんの低い心、我をはらない心に、息子さんが変わっていった。そんなお母さんの心が通じて、息子が働きに行つて、すばらしい活躍をするようになった。という実例だと思います。

低い心、我をはらない心、これが大切。私も教会長ならせて頂いて、いろんなことがありました。

ある時、信者さんに、「教会にちゃんと参拝するように。月次祭に来るように」と話をさせて頂いた。そしたら信者さんが何と言ったか。「会長が言うから、教会に行く気がしない」。なんか、心臓がグサツとやられたようなショックでした。頭の中は真っ白で、電話を掛けようとしたら受話器を落としてしまいます。

だけど、そのあと反省をしました。やはり信者さんが思うということは、こちらに何か責任があるわけです。勝手に思ってい

るわけではないですから、こちらも反省をしなければならぬと思います、すぐに行きました。

信者さんの所に行く時、思い切つて、地べたに這うような気持ちで行きました。その人にすれば、私に会うのが嫌なんですよ。うから、「何しに来たんだ」という顔をされました。それでも、何度も行かせて貰いました。

結果、今では、私が行くと、凄く喜んで下さる信者夫妻となつて繋がっています。ですから、人間関係でつながらない時は大変ですけど、低い心、我を張らない心で相手と向き合つていくことで、必ず繋がることが出来る。こういうことじゃないかなと思います。

次に嫁姑の治まりについてですが、この嫁姑は本当に難しいですよ。今じゃ、嫁さん姑さんが一緒に住んでいませんよね。一緒に住んでるのは、天理教の教会ぐらしじゃないかな。

すごく難しいことですけど、やっぱり陽気ぐらしというものは、誰でも仲良く、どんな人でも仲良くですから、陽気ぐらしの

を目指す中で、どうしたら嫁姑がうまくいくのかを、私の体験の中で、私自身が感じたことをお話しさせていただきます。

これまでに、嫁姑がうまくいかないという相談をだいたい受けました。だけど、なかなか答えが出せませんでした。

なぜ、答えが出せないかというと、嫁さんも良ければ、姑さんも良い人。良い姑さんと良い嫁さん、どっちかが悪ければ注意もできるけど、どっちも良いとなると、答えが出せません。

どうとう行き詰つて、でも、おたすけをしなくちゃならないから、嫁姑さんが小さな家で暮らしているようなお宅へ行つて、「その秘訣は何でしょうか」と聞いてみました。一軒ではわからないから、何軒も聞いてみました。

そしたら、どこのお宅でも、答えはほとんど一つでした。皆さんは、何だと思いませんか？

それは、「アホになればいい、利口になつてはダメ」。「嫁さんが悪くても、絶対注意してはいけません。注意するんだつた息子に注意しなさい」ということでした。

(続く)

支部だより

立教 183 年
R2.11
NO.543

◆本部・教区事項

・先月は秋の大祭の月でして、少しずつ帰参者の方も次々と増えているのではないかと、非常にありがたいと思っております。御本部でもパイプ椅子を敷き詰めて、間隔をあげながらですが参拝をしていただきました。殿内の方はまだ制限をしないと、大勢の方を制限せずに入れるというわけにはいきませんので、従来通りではあります。来年についても殿内は暫く制限をしないといけないかなとも思っています。今年ももう二か月というところで、今年1月は大祭、通常通り行つております。それからだんだんと話題になつてまいりまして、3月ぐらいから月次祭、あるいは行事に制限、延期、中止というようなことが出てきました。大きい行事も小さい行事も全部なくなりましたので何か季節は進むんですが感覚的には何もないので非常に自分自身がメリハリのない毎日を送るといふような気も致しまして、改めて自分の感覚が行事の動き

が中心になつて体の中の時計が進んでいったのかなということを感じました。行事の内容を改めて考え直していくことはもちろんですがやはり私達の元々の目標に向かつての元々の進め方の在り方というものも根幹的なところからしっかりと考え直さないとけないという風に思います。建物にしても街づくりにしても「箱物」、箱から先に作つて内容を追いつかせていく。私たちのふしんの考えもまさにそうでありました。しかしそのやり方自体が良かった悪かったのではなく、今日の人々にはそれはなかなか分かりにくいし、順番としてなかなか理解しにくい状況になつてきているのかなという風に考えられます。目指すところは何も変わらないんですが、そこへ向かう道筋、物事の展開の仕方の問題ですから、しっかりと考えて、ふしんということでは私たちがとつて非常に大事なことで、これは私たちがとつて非常に大事なことで、進めてきましたし、皆さん方も私自身もそれが染みついていふんですけども、「形のふしん」が先ではなく、やはり私たちは『心のふしん』というのをもう少し重点を置いて進めていく、いろいろなことを切り替えながら目標に向かつていくということ考えなければならぬ。そういう機会を与えていただいているように思います。

◆支部事項

*令和三年度(公財)天理よろず相談所管外
医療ようぼく 募集案内
・看護師養成の大学・短大・専門学校
・薬剤師養成(6年制)の大学
・作業療法士、言語聴覚士養成の大学、短大、専門学校 いずれも若干名 願書受付期間
令和2年12/1〜令和3年1/8

◆修練部……………(㊦)高橋重徳委員
お手振り勉強会開催
とき 12月3日(木) 10時〜
会場 中富分教会
持ち物 ハッピー・扇・お手振り概要等

◆災害隊……………(㊦)山本明久委員
11/28(土)エコパにおいて本年度の教区訓練を実施します。大勢の参加を!

◆社友・広報庶務部……………(㊦)山口正洋委員
第二詩集「四十行のひとりごと」
中島みゆき著 定価 一冊 1,430円
好評発売中! 10冊購入で一冊1,290円になります。

◆ふれあい折り込みひのきしん12月は4組で
お祝い致します。

◆婦人会……………(㊦)山口さとみ委員
例会は休会とさせていただきます。

◆青年会・献血担当……………(㊦)山下洋平委員